

年度	2022	開講学期	後期	単位数	1	時間割コード	B120
授業科目名	農場実習			担当教員名	渡邊 学		
授業科目名：英語	Farm Practicum 2						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード			
	1	金	3・4	B120			
	【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）						
主な対象学生	農学部 植物生命科学科 2 / 農学部 食料生産環境学科 食産業システム学コース 2						
科目の情報	科目の種別	専門教育科目	科目番号	APB260B			
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件	特になし						
担当教員情報	氏名（カナ）	渡邊 学（ワタナベ マナブ）					
	担当教員名（英語）	WATANABE Manabu					
	所属	農学部					
	常勤・非常勤						
	研究室	農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝沢農場					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧： <a href="http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/407_ja.html">http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/407_ja.html</a> researchmap： <a href="https://researchmap.jp/read0195900">https://researchmap.jp/read0195900</a>					
	個人サイト						
	相談可能時間	メールにて連絡すること。					
他の担当教員	由比 進						
キーワード	収穫、選別、加工、PBL						
学位授与方針との関係	この科目は、植物生命科学科および食料生産科学科食産業システム学コースの「学位授与の方針」の「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」の達成に寄与しています。			学位授与の方針			
				知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現
				20%	20%	20%	40%
授業の目的	実際の農業の一端を実習させ、農学の理解を深める。また、種々の資料で情報を得ながら農作物を栽培し、その過程で生じる課題の原因と対策を探ることを目的とする。						
到達目標	基本的な水稲、畑作物、果樹、野菜栽培などの概要が理解できる。また、農作物の栽培で生じる課題の原因を解明し、適切な対応策を講じることができる。						
授業の概要	水稲の収穫、調整、貯蔵および品質に関する作業。畑作物の収穫、選別および調整に関する作業。果樹の着色管理、収穫、選別および貯蔵に関する作業。また、農場実習 でグループごとに設定したテーマについて発表。						
実務経験の有無と授業内容への反映							
授業の形式	水田、畑、果樹園圃場での実習						
授業時間外の学習/予習・復習	周囲の農業が行われている現場の観察、新聞、TV報道での農業の情報を収集する。						
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）							
回/週	授業内容			予習・復習			備考
1	水稲の刈り取り			水稲の刈り取り適期と方法を調べておく。一般的な刈り取り体系を調べておく。			
2	リンゴの着色管理			リンゴの着色に関わる色素について調べておく。着色を促進する条件を調べておく。			
3	水稲の脱穀、米の精白			脱穀機の機構を調べておく。			
4	米の品質			米の種類と性質を調べておく。			
5	ダイズの収穫、脱穀			ダイズの脱穀について、水稲との違いを調べておく。			
6	リンゴの収穫			リンゴの収穫適期の判断方法を調べておく。			
7	リンゴの選果、貯蔵			リンゴの品質評価の基準を調べておく。			
8	販売会準備			各種収穫物の品質評価および規格を調べておく。			
9	販売会			販売する生産物の特徴を調べておく。			
10	ダイズの選別			ダイズの品質評価の基準を調べておく。			

11	プロジェクト実習成果発表会	農場実習 において、各班で実施したテーマについて、とりまとめておく。				
12	リンゴの剪定	せん定の目的と方法を調べておく。				
13	味噌醸造	味噌加工の原理を調べておく。				
14	総括および期末試験	農場実習 で学習したこと、体験した作業について、振り返りまとめておく。				
15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
			関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	平常点	80%	○	○	○	○
	レスポンスカード	0%				
	小テスト	0%				
課題・レポート	0%					
期末テスト	20%	○	○	○	○	
評価の基準（具体的に）						
教員の説明をよく聞き、その実践が出来るかを実習作業を通して、評価する。また、期末試験での理解度、農業への関心度を具体的に評価する。						
履修における留意点	農場実習 での作業を進める内容となる。3年次農場特別実習の履修において、希望者が定数を超える場合は農場実習の履修者を優先する。					
教科書 / 教材						
参考文献						
コースリザーブ図書						